

教育資料室だより

No.37 令和8年(2026).9.1

発行 桐生市教育資料室

桐生市小曾根町3-30(桐生市教育センター内)

電話 0277(46)6191

歩いて 見つけて 味わって

ふるさと探訪 (5)

桐生市内文化施設とのコラボ企画



令和7年6月7日(土)～9月28日(日)

桐生市近代化遺産 絹燃記念館

桐生のキュウ公共施設

その1

今回のコラボ企画は、桐生市近代化遺産絹燃記念館の昨年の企画展「新市庁舎完成記念桐生のシン公共施設」を取り上げました。桐生市の公共施設も老朽化が進んだり、設備が旧式になったりと、ここ何年かで新築や改修が行われ、ずいぶん様変わりしました。そこで今号では、それら施設の一昔二昔前の姿を振り返り、移り変わりを見ていく特集としました。

協力 桐生市近代化遺産 絹燃記念館(写真提供含む)

参考 「桐生市教育史下巻」「ふるさと桐生のあゆみ」

「桐生市歴史年表(図書館ボランティアの会編)」

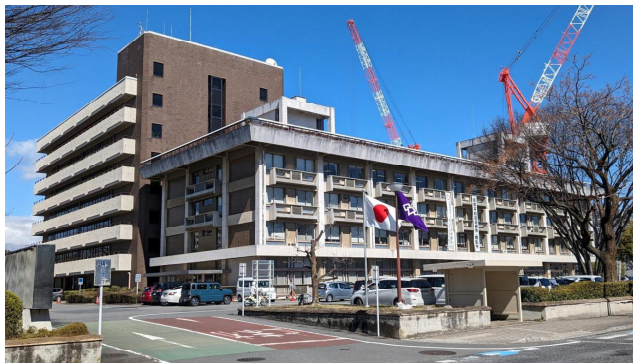
「桐生市ホームページ」

○桐生市役所

新庁舎は鉄骨・鉄筋コンクリート造り5階建てで、織都桐生を象徴する「糸巻き」をモチーフした六角形のデザインが特徴的な建物です。西側に位置する「まゆ」をイメージした美喜仁文化会館と対をなしています。ここでの業務は令和7年(2025)1月6日(月)から開始されました。



建設中の新庁舎南側外観 ↑



旧庁舎南西方向から ↑ (新庁舎建設のクレーンがみえます)

旧庁舎(手前)は昭和38年(1963)12月24日に地鎮祭が行われ、昭和40年(1965)に完成。業務開始は5月31日でした。



さらに以前、小曾根町に置かれていた時代の庁舎(大正11=1922年落成)です。北側の木造校舎は

西小学校。左の白い建物は旧水道事務所で、3階は市議会議場として後から増築されたものです。庁舎は既にありませんが、この建物は今も現役で、西公民館として使われています。

○桐生市学校給食中央共同調理場



令和3年(2021)、美原町から現在地(相生町4丁目)へ新築移転。6000食/日の能力があります。



今は更地になり、市役所職員駐車場として利用されている先代の共同調理場は、昭和44年(1969)に調理場棟、45年(1970)に管理棟が完成し、市内全小中学校へ5献立5日制の給食が実施されました。桐生大橋へのアクセス道路ができる前の写真です。桐生高校の旧体育館も写っています。



桐生市立栄養給食研究所＝通称「栄研」から給食配送車が出発するところです。ここが初代調理場で昭和27年(1952)4月から共同調理業務を開始しています。昭和10年(1935)7月、「女子工員を中心とする織物関係従業員に栄養価の高い食物を安価に提供する」ことを主な目的に、桐生の有力な織物業経営者が中心となり、有限責任桐生共同栄養食購買組合を設立しました。同組合は美原町(中央の写真と同じ場所)に事務室・炊飯室・調理室・倉庫等を新築し、同11年3月1日に業務を開始、10月からは学校給食用物資の斡旋と調理指導も行います。戦時中は軍需工場労務者へ給食を提供、19年(1944)からは駐屯した津田沼鉄道部隊の炊事本部として使用されたため給食業務は終了します。25年(1950)に設備一切が桐生市に寄付され、上記「栄研」として再出発しています。

○桐生消防署東分署



初代桐生消防署東分署は昭和43年(1968)東1丁目に本町分署を移転して開設されました。上の写真は令和2年9月に天神町1丁目に新築され、同11月4日から運用開始となった2代目の庁舎です。移転に伴い旧庁舎は廃止されました。



昭和35年(1960)9月に織姫町に建設された本部庁舎。美喜仁文化会館の南側、現在は桐生商工会議所が建つ場所にありました。下は放水訓練の様子で、左手が文化会館の方向です。まだ市役所旧庁舎が建てられていません。



左は昭和3年(1928)。本町3丁目に建設された常備消防部庁舎(後の本町分署)と望楼(昭和45年撤去)です。